

営 農 情 報

令和5年5月3日発行

第8号

移植までもう一息！健全苗に仕上げましょう！

～胚乳消尽期(2.5葉期前後)の管理を丁寧に～

○育苗後半の管理

項 目	1.5葉～3.0葉	3.0葉～移植	
管理目標	苗の徒長防止	苗の充実化	
管理要点	温度に注意して十分に換気する	・外気温に十分馴れさせる ・苗のしおれに注意し、かん水する	
管 理 内 容	温度管理	苗の葉先で20℃	苗の葉先で18～20℃
	換気目安	25℃以上や晴天日	外気温と同じ
	温度調整 (換気)	晴天日は早朝から肩・裾 換気し、夕方は早く閉じる	降霜に注意し、昼夜 とも肩・裾を解放する
	水 管 理	各時期とも、日没までに蒸発するかん水量に止める	
目 安	・早朝葉先に水滴の付着が少なくなったとき ・日中、葉身の展開が悪くなったとき		
方 法	・かん水する場合は一度に行い、床土全体に浸透したことを確認 ・夕方の床土水分は翌朝にかん水出来る程度とする		

【管理の留意事項】

- ・苗の異変は、朝露の乗り方で発見しましょう。部分的に乗らない時は要注意！
- ・2葉目が伸びる時期からかん水を控え、葉ではなく根を伸ばしましょう。
- ・中苗マットの追肥は1.5葉前後と2.5葉前後、かん水に合わせて行います。
- ・2.5葉頃は胚乳の養分がなくなる時期で、障害への抵抗力が弱くなります。

「高温⇔低温」「過乾⇔過湿」「強冷風」などの環境の変化に気をつけましょう。

J A み ね の ぶ 営 農 推 進 協 議 会

TEL0126-67-2334 FAX0126-67-2803